

## 【各国議会】 日本関係情報

### 【アメリカ】連邦議会議員によるサッカー米国女子代表への祝福と日本女子代表への言及

2015年7月5日、カナダで開催されていたサッカーのFIFA女子ワールドカップ（以下「W杯」）で、決勝に進出していた米国と日本がバンクーバーで対戦した。結果は米国が5対2で日本を破り、同大会で3度目の優勝を達成した。これに伴い、連邦議会で、5人の議員が議会本会議の演説及び連邦議会議事録に掲載した所見（Extensions of Remarks）で女子チームの優勝に対して祝意を表した。更にロバート・メネンデス（Robert Menendez）上院議員（民主党、ニュージャージー州）を主要発案者とする34人の上院議員（主要発案者を含めて民主党24名、共和党9名、無所属1名）は「サッカー米国女子代表による2015年W杯優勝を祝福する」と題する上院決議第218号（S. Res. 218）を発案し、上院本会議で成立させた。

メネンデス上院議員とテッド・ポー（Ted Poe）下院議員（共和党、テキサス第2選挙区）は米国女子代表の優勝を称えることを目的として、全22選手及び監督の名前を連邦議会議事録に掲載し、女子チームの優勝を「米国にとっての勝利であるとともに、女子サッカーにとっての勝利であり、女子スポーツにとっての勝利である」「学術・スポーツ競技・経済に関する機会を女性にも等しく提供する投資が、米国に有形・無形の配当をもたらすことを証明するもの」などとするコメントも見られた。

米国女子代表を祝福する中で、幾人かの議員は日本女子代表についても言及している。シーラ・ジャクソン・リー（Sheila Jackson Lee）下院議員（民主党、テキサス第18選挙区）は米国女子代表が「勇敢で才能溢れる日本女子代表」を破ったと評し、決勝での米国の勝利の価値を強調している。加えてポー下院議員は日本女子代表が優勝を果たした2011年のドイツ大会の決勝（会場はフランクフルト）についても言及している。同議員は「2011年7月17日に優勝の座をめぐって米国は日本と対戦したが敗れた。これは痛切な敗戦であり、この敗戦こそが米国女子代表を奮い立たせた」と述べ、2011年大会決勝での敗戦の経験とライバルとしての日本女子代表の重要性を指摘している。

- ・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-07-07/pdf/CREC-2015-07-07-pt1-PgH4777-8.pdf#page=1>
- ・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-07-08/pdf/CREC-2015-07-08-pt1-PgH4873-3.pdf#page=1>
- ・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-07-08/pdf/CREC-2015-07-08-pt1-PgS4894-9.pdf#page=1>
- ・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-07-07/pdf/CREC-2015-07-07-pt1-PgE1007-4.pdf#page=1>
- ・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-07-08/pdf/CREC-2015-07-08-pt1-PgS4844-3.pdf#page=1>

### 【アメリカ】御殿場とチェンバースバーグとの姉妹都市関係樹立55周年

2015年7月16日、ビル・シュスター（Bill Shuster）下院議員（共和党、ペンシルヴェニア第9選挙区）は、静岡県御殿場とペンシルヴェニア州のチェンバースバーグ（Chambersburg）との姉妹都市関係樹立55周年を顕彰する所見（Extensions of Remarks）を連邦議会議事録に掲載した。シュスター下院議員は同所見で御殿場を「8万9000人近くの活気ある市民と富士山山麓の美しい景観を擁する素晴らしいパートナー」と称賛している。その上で同議員は、「チェンバースバーグと御殿場が姉妹都市関係を樹立してから55年が経過するのを誇りとともに祝福し、両都市による国際的な連帯にこの後も切れ目のない成功をもたらされることを切に望む」と述べている。

・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-07-16/pdf/CREC-2015-07-16-pt1-PgE1078-3.pdf#page=1>

### 【アメリカ】 勝村好広氏に対するダービン上院議員の哀悼の意

2015年8月2日、シカゴを拠点に活躍する日本人シェフの勝村好広氏が肝臓癌のため死去した（65歳）。これを受けて、ディック・ダービン（Dick Durbin）上院議員（民主党、イリノイ州）は8月5日の議会本会議の演説で勝村シェフに対する哀悼の意を表した。この演説でダービン議員は勝村氏の経歴・功績・人柄について振り返っている。経歴としては、勝村氏が1950年に茨城県で生まれたこと、「[フレンチの巨匠]として知られる」坂井宏行氏の下でフランス料理の極意を学んだこと、1973年にシカゴへ渡った後に「シカゴで一番の名シェフ」と称されるジャン・バンシェ（Jean Banchet）氏の下で学んだこと、1982年に自身の店舗となる「ヨシズ・カフェ（Yoshi's Café）」をシカゴに構えたことなどが紹介されている。また勝村氏の功績としては、「ヨシズ・カフェ」が「料理専門のテレビ局である」「フード・ネットワーク（Food Network）」により取り上げられたこと、同店がコンデナスト社（Conde Nast）の『グルメ（Gourmet）』誌による「米国最優秀料理店（America's Top Tables）」にリスト入りしたこと、同店に面した通りが勝村氏にちなんで「ヨシ・カツムラ・ウェイ（Yoshi Katsumura Way）」と改名されたこと、勝村氏がハリケーン・サンディや東日本大震災に関する慈善イベントの開催に携わったことなどが紹介されている。そして人柄については、ダービン議員自身が「ヨシズ・カフェ」で夕食を振る舞われた逸話を紹介し、そこで勝村氏から「友情」と「人となりの良さ」を感じたと述べている。

（ [ ] は筆者による補足）

・ <http://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2015-08-05/pdf/CREC-2015-08-05-pt1-PgS6367-2.pdf#page=1>

### 【韓国】 日韓議員親善囲碁大会を11年ぶりに開催

2015年7月13日、韓国国会において、日韓国交正常化50周年記念「韓日議員親善囲碁交流戦」が開催された。日韓議員による囲碁大会は、1999年2月から2004年にかけて6回開かれ、11年ぶりに再開された。国会棋友会の会長である与党セヌリ党の元裕哲（ウォン・ユチョル）議員は祝辞において、「東洋の囲碁は共生と共存の哲学が盛り込まれたゲームであり、今回の親善交流が勝負を離れ、親善を固める親交の時間となることを期待する」と述べた。今回の囲碁大会には、韓国側から李錫玄（イ・ソクヒョン）国会副議長、金武星（キム・ムソン）セヌリ党代表等の与野党の議員、日本側からは菅直人元首相をはじめ、小坂憲次元文部科学相、後藤田正純前内閣府副大臣など、超党派の「囲碁文化振興議員連盟」の7人が参加した。

・ [http://www.natv.go.kr/renew09/brd/news/news\\_vw.jsp?newsId=28856](http://www.natv.go.kr/renew09/brd/news/news_vw.jsp?newsId=28856)

### 【韓国】 平成27年版防衛白書における竹島関連記述に対する反応

中谷元防衛相が2015年7月21日の閣議で平成27年版防衛白書を報告し、了承された。この平成27年版の記述のうち、平成17年版以降踏襲されている「わが国固有の領土である北方領土や竹島の領土問題が依然として未解決のまま存在している」という記述について、韓国外交部は同日に報道官声明を出し、「日本帝国主義による韓半島侵略の歴史を否定する行為」であると批判した。

与党セヌリ党も同日のブリーフィングにおいて、次のような立場を表明した。「領土侵奪の野望を捨てない日本の姿勢に憤怒を禁じ得ない。韓日関係改善のため、共生と協力を

叫びながら、軍国主義的妄想を捨てられない矛盾した振る舞いをセヌリ党は強く糾弾する。日本政府に警告する。独島（竹島の韓国名）は歴史的、地理的、国際法上の厳然たる大韓民国領土である。過去の侵奪の歴史を無視し、繰り返そうとするならば、日本は国際社会からの孤立を免れることはできない。大韓民国政府とセヌリ党は、独島に対する確固たる守護の意思を表明する。併せて、日本により繰り返される領土侵奪の挑発に対し、強力に対応していく旨を表明する。」

同日、最大野党である新政治民主連合もブリーフィングにおいて次のような立場を表明した。「実に 11 年もの間、独島領有権を主張してきた日本の厚顔無恥な振る舞いを強く糾弾せざるを得ない。（中略）これまで日本政府が植民地支配と慰安婦問題等に対し、国際社会に示してきた姿勢は、結局、巧妙な小細工であり、ごまかしに過ぎないという傍証である。（中略）朴槿恵（パク・クネ）政権は、これ以上言葉だけで騒ぐにとどまらず、断固たる意思と強力な行動により、日本の防衛白書を通じた独島に対する挑発に強硬な対応をとらなければならない。」

・ [http://www.saenuriparty.kr/web/news/briefing/delegateBriefing/readDelegateBriefingView.do?bbsId=SPB\\_00000000769892](http://www.saenuriparty.kr/web/news/briefing/delegateBriefing/readDelegateBriefingView.do?bbsId=SPB_00000000769892) 及び [http://npad.kr/npad/?page\\_id=672&mod=document&uid=60288](http://npad.kr/npad/?page_id=672&mod=document&uid=60288)

#### 【韓国】 朴槿恵大統領、岡田民主党代表と面談

2015 年 8 月 3 日、朴槿恵大統領は、民主党代表就任後の初めての海外訪問先として韓国を訪れた岡田克也党代表等と面談した。この席で朴大統領は、日韓関係について次のように発言した。「過去、現在、未来が複雑に絡まっている両国関係を安定的に発展させていくためには、過去との和解が何よりも重要である。岡田代表は『菅首相談話』の作成にも直接関与したと承知しており、韓日関係の今日までの発展は、村山談話、河野談話などの植民地支配と侵略を反省し、未来に進もうとした日本の歴代内閣の歴史認識に基盤が置かれている。『安倍首相談話』が歴代談話の歴史認識を確実に再確認することにより、両国関係が未来に向かう上で、大きな基盤を築くことを期待する。残された懸案について忍耐力を持って、ひとつずつ賢明に解決していくことが両国関係の改善はもちろん、首脳会談開催の雰囲気づくりにも寄与する。そうした努力は韓日及び日中関係の改善にも役立つと期待する。過去と関連した懸案が残っているが、安保、経済等において、韓日の対話と協力を引き続き強化していくことを望む。解放 70 周年かつ韓日国交正常化 50 周年のモメンタムを継続できるよう、今年が新しい未来を見通し、韓日がともに協力関係を発展させる年となることを心より期待する。」

また、慰安婦問題について、朴大統領は「被害者の方々が高齢であることを考えれば、今が解決のための最後の機会になる」と強調し、安保法制については、「日本国内の議論が平和憲法の精神を堅持し、地域の平和と安定に寄与する方向へ透明性をもってなされることを期待する」と述べた。

・ <http://www1.president.go.kr/news/newsList.php>

#### 【中国】 国連事務総長の戦勝 70 周年記念行事への出席

2015 年 9 月 1 日の定例記者会見において、中国外務省の華春瑩報道官は、9 月 3 日に行われる中国の戦勝 70 周年記念行事に国連の潘基文事務総長が出席することを日本政府が批判していることについて、次のようにコメントした。

「中国政府が 9 月 3 日に記念行事を行う目的は、歴史を銘記し、殉難者を偲び、平和を

大切にし、未来を切り開くことである、と中国側は既に何度もはっきりと述べている。国連は、第二次世界大戦の勝利の重要な成果である。中国側は、潘事務総長が他の国家指導者と共に中国を訪れこの記念行事に出席することを歓迎する。国際社会が様々な形で世界反ファシズム戦争勝利 70 周年を記念している時に、このような日本の主張は全く言い掛かりである。我々は日本側に対し、誠実で謙虚な態度で過去のあの軍国主義侵略の歴史を直視し、深く反省するよう強く促したい。」

また、2015 年 9 月 7 日の定例記者会見において、中国外務省の洪磊報道官は、潘事務総長の記念行事出席に対し日本政府や自民党が懸念を示していることについて、次のようにコメントした。

「9 月 3 日に行った中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利 70 周年記念行事は、歴史を銘記し、殉難者を偲び、平和を大切にし、未来を切り開くという中国人民の決心を示した。これは、「国連憲章」の重要な精神である。潘事務総長が国連の代表として 9 月 3 日の記念行事に出席したのは道理にかなっている。氏は、他の 65 名の外国指導者、政府上級代表、国際機関責任者及び歴代政府要人と共に中国人民の歓迎を受けた。国連は、第二次世界大戦の勝利の硝煙の中で生まれ、ファシズムと軍国主義に対する世界人民の抵抗の重要な成果であり、誤った歴史の轍を踏むことを防止するための重要なメカニズムである。反ファシズムの勝利を記念するという問題において、国連はどのように中立を保つのか。平和と正義に関する問題において、国連はどのように中立を保つのか。我々は、個別の国がこれ以上言い掛かりをつけないよう強く促したい。このような時間とエネルギーがあるのなら、「国連憲章」をよく読み、侵略の歴史を真剣に反省し、隣国と国際社会の信頼を得るよう努力するとよい。」

・ [http://www.mfa.gov.cn/mfa\\_chn/fyrbt\\_602243/t1292876.shtml](http://www.mfa.gov.cn/mfa_chn/fyrbt_602243/t1292876.shtml)

・ [http://www.mfa.gov.cn/mfa\\_chn/fyrbt\\_602243/t1294426.shtml](http://www.mfa.gov.cn/mfa_chn/fyrbt_602243/t1294426.shtml)